



2018年度日本財団助成事業  
「スポーツを通じて障がい児の自立を  
支援するボランティアの養成」事業  
報告書



**smile club**

surroundings where everyone can easily enjoy sports

SINCE 2000

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

2019年3月  
N P O 法人スマイルクラブ

---

## 目次

はじめに . . . . .	1
本事業の目的と概要 . . . . .	2
本事業の実施内容と結果 . . . . .	3
本事業の評価と課題 . . . . .	17
(付表) ボランティア募集チラシ一覧	
(参考) 運動が苦手な子の教室案内	

---

# はじめに

---

自閉症児の母親に頼まれて始めた『運動が苦手な子の教室』はおかげさまで21年続けてこられました。また、苦手な子を卒業して成人になってもスポーツを楽しめる教室「チャレンジスポーツ教室」も増やすことができました。

まだまだ、充分ではありませんが、発達障がいがあってもスポーツを楽しめる環境作りに貢献していると自負しています。

そして、この裏には多くのボランティアの支えがあるということをお忘れては語れません。初めての場所や人とかかわることが苦手な子が多い中、多くのボランティアのおかげで、当クラブの教室に通う子たちは慣れてきていることを感じます。

また、携わってくれたボランティア自身も、子どもたちから色々な事を学ばせてもらうことで、成長していく姿を多く目にしています。

教室立ち上げのころはボランティアの募集に苦労していましたが、助成事業のおかげもありまして、かなり定着してきました。

今回の助成事業を最後に来年度からは、自主事業としてボランティアの養成もしていく所存です。

長きにわたり応援していただきました日本財団に感謝するとともに、この応援に恥じぬ活動を続けていきますことを申し上げ初めのことばとさせていただきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

2019年3月  
NPO法人スマイルクラブ  
理事長 大浜 あつ子

# 本事業の目的と概要

## 【目的】

一人でも多くの方が発達障がい児や知的障がい児の自立支援に継続して関わり、障がい児の行動の理解を広め、障がい児への接し方を学ぶことで、健常者と障がい者の相互理解を深め心の壁を取り払うことによって、共生（インクルージョン）できる社会の確立を目的とする。

## 【概要】

1. 「運動が苦手な子の教室」での障がい児スポーツボランティア体験
  - (1) 2018年度 通年の教室（クリスマス会も含む）
  - (2) プール教室⇒8月
2. 健常児と障がい児と一緒にスポーツを楽しむイベント
  - (1) 親子ボウリング大会⇒10月
  - (2) 風船バレー体験交流会⇒12月
3. ボランティア育成のための講習会
  - (1) 安全講習会⇒6月・12月
  - (2) スポーツボランティア研修会⇒6月・12月
4. ボランティア活動報告会⇒2月
5. 関係機関への報告書配布による本事業の普及⇒3月



---

# 本事業の実施内容と結果

---

## 【実施内容】

詳細は次ページより記載。

発達障がいという一つのことばの中には、自閉症、知的障がい、ADHD（注意欠陥多動症）アスペルガー症候群、ダウン症、LD（学習障がい）など様々な特徴のある子どもたちがいます。

さらに、自閉症という症名の中にも、寡黙な子もいれば、明るい子もいますし、一人として同じ子がいないという状況です。

ボランティアとして一回関わっただけでは、その子どもの特徴を把握できないとは思いますが、プール教室での3日間は一人一人に密着して指導するため、かなり親密さを感じた人が多くいました。

発達障がいといわれる子どもたちを理解してくれる人を多くすることが、子どもたちが将来社会へ出て行った時に、疎外されたり本来の特徴を生かせないという状況を減らすことができると思います。

「子どものうちは、少々いうことが聞けなくても『可愛い！』で済ませられますが、大人になった時にはそうはいかなくなっていくます。でも、この子たちが大人になった時のことを想像してもらって、社会に出ている人たちにも理解をしてあげてほしいです。」いつも、ボランティアにはこのことをお話ししています。

## 【結 果】

今年度は全体で、定期的なボランティアとイベントのみのボランティアを合わせて延べ247人の方にご協力いただきました。

定期的なボランティアは、教室へのお手伝いが中心です。お仕事の合間に来ていただけている方、学生でテストなどの学校行事以外は来て下さる方、様々ですが、このボランティアの方たち抜きにはスマイルの教室は成り立ちませんので、本当に感謝しています。

## 1. 技能講習会を通したボランティアの資質向上（その1）

日時：2018年7月18日（水）

場所：柏市立柏高等学校

参加ボランティア：57人

### （1）スポーツボランティア研修会（講師：松下正一郎氏）

13:00～14:00

- ・内容：スポーツボランティアの必要性和参加の仕方を学ぶ

### （2）安全研修・実技講習会（講師：荒井宏和氏）

14:00～15:00

- ・内容：心肺蘇生（CPR/AED）の安全研修

スマイルクラブスタッフの松下正一郎氏より、発達障がい児に向けてのボランティアをする時の心構えや、子どもたちの特徴を説明し、水泳教室だけでなく他の教室への参加も促しました。

流通経済大学スポーツ健康科学部荒井宏和教授より、訓練用のダミー人形を使って人工呼吸法とAED使用法の講習を行いました。特に、夏の水泳教室で指導に当たるボランティアの学生は、水難事故の防止のために、現場を想定しながらの講習を行いました。



講義される荒井先生



ダミー人形を使った実技訓練

## 2. 「運動が苦手な子の教室」 イベントを通じたボランティアの勧誘

### (1) 水泳教室

- ・日時：2018年8月1日（水）～ 8月3日（金） 10:00～12:00
- ・場所：柏市立高校プール
- ・参加ボランティア：55人（全員初参加） 3日間延べでは91人
- ・内容：「運動が苦手な子の教室」 会員向けの水泳指導

子どもたちとボランティアの学生さんがマンツーマンでプールへ入る教室です。安全研修も参加してくれた学生が多く、安心して指導を任せることができました。

初日は担当する子どもとの対面から始まりますが、昨年も参加してくれて、お互いに「久しぶり～！」という会話からスタートできたペアもありました。初めて会ったペアも最終日には名前も覚えて楽しく会話しながら指導に入ることができました。



マンツーマンでの水泳指導



ボランティアの皆さん

## (2) ボウリング大会

- ・日時：2018年10月8日（月・祝）13:30-16:30
- ・場所：マルハン柏内ボウリング場
- ・参加ボランティア：8人
- ・内容：障がい児の家族ボウリング大会での受付など

「運動が苦手な子の教室」、「チャレンジスポーツ教室」、「スマイルスポーツ塾」の子ども達とご家族を中心に参加頂きました。

ボランティアには社会人の方から中学生まで様々な方々に、ご参加いただきました。受付からグループ分け、会場の案内などお手伝いいただき、大きな混乱もなくプレーができて、最後の大会表彰式の盛り上げにも大いに活躍してもらいました。

いつも難しいのは、グループ分けです。あらかじめ同じ教室の家族を一緒に、または隣のレーンへと組んでいるのですが、当日急な休みが出たり、レーンが故障したりとハプニングがあります。今回は大きな変更はありませんでしたが、欠席などの小さな変更があった場合うまくボランティアが動いてくれて、スムーズに運営することができました。



ボウリング場を貸し切りにして



プレーの様子

### 3. 技能講習会を通したボランティアの資質向上（その2）

日時：2018年12月4日（水）

場所：柏市立柏の葉中学校

参加ボランティア：23名

- (1) スポーツボランティア研修会（講師：大浜あつ子氏）  
13:10～14:00  
・内容：スポーツボランティアの必要性和参加の仕方を学ぶ
- (2) 安全研修・実技講習会（講師：荒井宏和氏）  
14:00～15:00  
・内容：心肺蘇生（CPR/AED）の安全研修

スマイルクラブ理事長の大浜あつ子氏より、発達障がい児に向けてのボランティアをする時の心構えや、子どもたちの特徴を説明し、水泳教室だけでなく他の教室への参加も促した。

流通経済大学スポーツ健康科学部荒井宏和教授より、訓練用のダミー人形を使って人工呼吸法とAED使用法の講習を行いました。中学生も初めてのダミー人形に初めはびっくりしていましたが、真剣にAEDの操作を覚えていました。



スポーツボランティアの講義



ダミー人形を使った実技訓練

## 2. (3) 風船バレーボール大会

- ・日時：2018年12月16日（日） 13:00～15:00
- ・場所：千葉県立柏の葉公園内 コミュニティ体育館
- ・参加ボランティア：11人
- ・内容：障がい児のチームに入って風船バレーボールの試合実施

子どもたちの中には、風船は割れるものとして耳を塞いでしまう子もいますが、割れにくい大きな風船に安心して、全員が手を出して、参加することができました。

小学生から社会人のお兄さんたちまで幅広い年齢での参加でしたが、ボランティアさん達が上手くフォローしてくださったので、どのチームも白熱した試合を楽しむことができました。また、お菓子の賞品も皆の盛り上がりで一役買い、最後まで楽しい大会になりました。



試合開始



ボランティアは子どもへパスを

## 2. (4) クリスマス会

・日時と場所：

### ☆ 柏教室

日	教室名	会場	時間
12月15日 (土)	苦手な子の教室	酒井根小学校	13:00~14:00
	苦手な子の教室	旭小学校	15:00~17:00
12月21日 (木)	苦手な子の教室	富勢西小学校	17:00~19:00
	チャレンジスポーツ	富勢西小学校	19:15~20:30

### ☆ 松戸教室

日	教室名	会場	時間
12月20日 (水)	苦手な子の教室	常盤平体育館	17:00~19:00
	チャレンジスポーツ	小金南中学校	19:15~20:30
12月21日 (木)	苦手な子の教室	常盤平体育館	17:00~19:00
12月26日 (火)	チャレンジスポーツ	常盤平第二小学校	19:00~20:30

### ☆ 印西・船橋教室

日	教室名	会場	時間
12月22日 (土)	苦手な子の教室	印西市木刈小学校	10:00~11:00
	苦手な子の教室	船橋市大穴小学校	13:00~15:00

- ・参加ボランティア：29人
- ・内容：「運動が苦手な子の教室」「チャレンジスポーツ教室」のクリスマス会の運営の手伝い

サンタクロースで出迎え、子どもたちはびっくりでした。ゲームで盛り上がり、最後はビンゴのお楽しみでプレゼントを渡しました。



最後はビンゴでお楽しみ



グループ対抗戦

#### 4. ボランティア報告会での体験報告

- ・日時：2019年2月2日（土）19:00-21:00
- ・場所：まねきねこ柏
- ・参加ボランティア：12人
- ・内容：ボランティア代表による体験報告

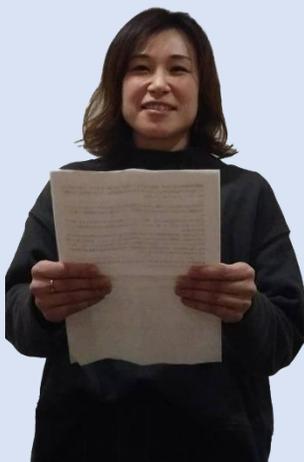
本事業中にボランティアを始められ、継続して活動いただいたボランティア4名の方に体験報告いただき、他のボランティア並びにスマイルクラブのスタッフが拝聴しました。



松本大輝さん  
(ボランティア  
後スマイルクラ  
ブスタッフ)



野村遥さん  
(大学生)



鈴木純子さん  
(主婦)



本田拓也さん  
(大学生)

## 「運動が苦手な子の教室」ボランティア体験報告

松本 大輝（まつもと だいき）

昨年のボランティア発表会は発表予定でしたがインフルエンザにより、代読だったためリベンジで今年も発表のエントリーをすることとなりました。

初めてお会いする方もいらっしゃるかと思いますので（顔見知りの場合は、あまり自分の話を詳しくする機会もめったにございませぬのでと・・・）簡単に自分の紹介と身の上話からさせていただきます。

生まれは都内で板橋区、東武東上線沿線の下赤塚2駅となりは埼玉県の都内としてはかなり静かな場所です。

中学受験と引っ越しの時期が重なり、こちらの中学校を受験して芝浦工業大学柏中学校に入学し、高校もそのままエスカレーターで卒業しました。

中学は水泳と水球、高校からはハンドボール一筋でやってきました。

専門学校をへて仕事としてはイラストレーターや漫画家のアシスタントなどを20代中盤まででやっており、母の影響から小学校での支援員などを行っていった末に今のスマイルクラブでお手伝いさせていただくことになったのが、一昨年6月のことです。

苦手教室を中心に一昨年からやらせていただいて、やはりはじめは個人差のある子たちの対応や指導法に四苦八苦しておりました。サポートだけならまだしも、前でやりはじめた時はこんなにも景色や気を付けること（体調や気持ち、安全）が違うのかと驚きました。それでも毎日のように次はこうしよう、この子はこうだからこしてみようと思えることがとても楽しかったというのが正直な感想です。

それから1年近く従事し、理事長から契約社員のお話をいただくことになり、お受けしました。

当初とは業務内容も違ってきて「あれ??」と思うこともありましたが、しかし社員になって指導する身としての心構えや考え方、教室運営の仕方などを知ることが増え、苦手を続ける上でよかったなと思えました。（パートでやっていたときよりも視野をとにかく幅広く。そして今いる子たちだけでなく運営としての数を増やすための魅力をつくるために）

そして現在、苦手を中心にスマイルで障がい者スポーツに携わって、自分の指導に関する知識不足を痛感すると同時にもっと特別支援系や障がいというものを勉強したいと思い、通信で大学で勉強しながら、苦手で指導し還元していきたいと考えております。来年度はその勉強を生かして、一層の苦手の盛り上げを自分の至上命題にして頑張っていきたいと思っております。

## ボランティアの感想

鈴木 純子（すずき じゅんこ）

スマイルクラブに参加するようになって2年弱です。実は、スマイルクラブとのかかわりはもう少しさかのぼり、今から15年以上前のまだ私が学生だった頃です。その時は、柏市の幼稚園での体操教室をお手伝いしていました。

再びつながりが出来たのは、私が子どもを産んで子どもが体操教室に興味を持ったことです。そのことで私がスマイルクラブを思い出して調べたところ、近くで教室を開催していることを知り、連絡をとって再びお手伝いするようになりました。

現在、私が参加している印西市立木刈小学校での「運動が苦手な子の教室」には、発達障がいのある子どもも多くいます。参加し始めた頃は、子どもたちとのかかわり方がわからなくて戸惑うこともありました。

例えば、教室の途中で、それまで一緒に運動していたのに急にしゃがみこんでしまって動かなくなってしまった時は、どのようにことばがけして誘ったらよいかかわからずに躊躇してしまいました。無理に引っぱってやらせようとして、嫌がれてしまったらどうしようと思ったからです。

今では、嫌がられても「もう一度別の誘い方をしてみよう」とか、「少し時間をおいてみよう」など、次の行動を考えられるようになりましたが、当時は探り探り行動していたように記憶しています。ただし、今でも完璧なわけではなく手探りの部分は同じです。どのように接していくのがその子にとって一番良いことなのかを、常に考えながら試行錯誤しています。

木刈小学校でお手伝いするようになってから、発達障がいに興味を持つようになって関連する記事などを讀んだり、考えたりするようになりました。端的にまとめられた記事だけでは、深い理解を得ることができず、まだまだ勉強しなければと思いますが、何となく感じていることは、子どもたちにはそれぞれの個性があって、感じ方や表現の仕方も違っているので、一人ひとりにあう指導の仕方や対応も変えていかなければならないということです。



子どもと接するという点では、二児の母親として私が実際に子育てもしていますので、その経験が生かせると思うのですが、親としてまだまだ未熟な私の子育てでは、毎日が悩みの連続です。例えるなら、半分溺れかけてアップアップしているような状態だと思っていますが、スマイルクラブにおいてもそれと同じような感覚を持っています。

経験や知識の少ない私が、「運動が苦手な子の教室」でお手伝いするには、子育てと同じように溺れかけの状況の中で子どもたちと触れ合っているながら、少しずつ必要なことを感じ取っていくしかないと思っています。

子どもたちとかかわることの難しさばかりお話ししてしまいましたが、子どもたちが楽しそうに運動している姿や、何かが出来た時の顔を見ると、自分もうれしくなり子どもたちがとっても可愛いと感ずみます。この思いができるだけお手伝いに行こうと思う気持ちにつながっているのだとも思います。

また、子育てをしていて思うのは、親はどうしても心配のあまり子どものできない部分や、足りないところに注目してしまいがちで、それ以外の良い部分になかなか目がいけない時があります。そんな時に、違う視点で見えてくれる場があることは、子どもだけでなく親にとっても大変貴重だと思います。

スマイルクラブの教室では、単純にできなかったことができるようになるという技術面だけでなく、他の子に気づかいができるようになったことや、いつも怒っていたことを我慢できるようになったことなど、細かい面まで良い部分に注目しほめてくれる場になっています。この様に子どもたちの良い部分を見つけて評価してくれる場は、子どもたちの自信をつけるだけでなく、保護者に対しても勇気づける場になっていると思います。

まだまだ、たいしたことはできませんが、これからもお手伝いを続けていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。



---

## スマイルクラブでの活動を通して

東京経済大学 経営学部 4年  
本田 拓也（ほんだ たくや）

私がスマイルクラブでボランティアを始めてから3月末で丸7年が経とうとしていますが、会員として通っていた時期を合わせると15年以上のお付き合いがあります。これまで、大浜先生をはじめ多くの先生方や保護者の皆さま、そして通っている多くの会員の子供たちに大変お世話になりました。本当にありがとうございます。

大浜先生曰く、私が初めてスマイルクラブに来たのは保育園年長の頃だと伺っています。その時の自分は「兄のついで」で入会したつもりで、ボランティアはもちろん、人生の半分以上をスマイルクラブでお世話になるとは思っていませんでした。中学生のときも部活動とスマイルクラブを並行して続けていましたが、中学3年生の時に土曜日に授業がある高校に進学することが決まりました。その時の自分は高校進学と同時にスマイルクラブも退会するのかなと思っていましたが、いざ卒業が近づくと何となく辞めたくないなと思うようになりました。そんな時、通っていた教室で頑張っている先生方やボランティアスタッフの方々を見て、毎週は難しいかもしれないけど、自分も今度はスタッフの側で活動してみたいと思うようになりました。そこで大浜先生にご相談し、学校の関係で教室の後半クラスだけボランティアスタッフとして活動することになりました。

最初の頃は何かを始めればいいのかかわからず、どうサポートすればいいのか戸惑いました。お子さんによって性格が違えば接し方も違い、最初の内は中々心を開いてもらえない時期もありました。自分の想像以上にスタッフとして行動する事が難しいと感じました。そこで自分は、まず相手の話をよく聴いてみることにしました。自分も、相手が自分の好きなことに対して共感してもらえるととても嬉しかったことを思い出し、なるべく相手の事を多く知ろうと考えました。自分はアニメなどの娯楽には疎かったですが、家族旅行の話や学校行事の話をしているうちに、同時にその子の人となり分かってくるようになりました。ただ一方的に「聞く」よりも、相手の事を考えながら「聴く」ことは、大学生活や就職活動でも活かされたと思います。また、実際にボランティアとして活動する中で、自分の行動で相手が喜んでる姿を見ると、役に立てたのだと嬉しさが込み上げてきました。私は大学で教職課程を履修したり、スポーツを専門として学んだり活動したりはしてきませんでしたが、個人的に運動神経があまり良くなかったこともあり、できない子の目線に立って役に立てることがあるのではと考えるようになりました。

---

それから、「この子が困っていることは何なのか」を中心に見ていくと、その子のクセや苦手なことが以前よりもわかるようになった気がしました。また、自分はこれまで上手くいった時など、一緒に喜ぶといったことが苦手なほうでしたが、

自分がアドバイスして少しでも上達したときは自然と嬉しい気持ちになりました。自分から行動して結果につながったことを嬉しく思った瞬間でもありました。

そしてスマイルクラブで一番印象に残っていることは、自立のために全て「やってあげる」ことは相手のためにならないという事でした。以前の自分は手取り足取り何から何までやってあげようという姿勢で接していたのですが、必ずしもそれは相手のためにならない場合もあるという事に気付かされました。たとえ苦手な事でも、その子が少しでも前進するきっかけになるのであれば、入り口をサポートしつつ、ゴールするまで見守ってあげることも支援なのかなと考えるようになりました。まだ自立するための支援については判断できない場面が多いですが、これが自分に充てられた課題と思って、これからも考えていきたいです。

以上の経験から、大学に入学してからはより多くの方と交流をもち、様々な経験をしたいと思うようになりました。

大学では、ゼミで海外の方々との交流や、本科である会計学以外に日本手話に取り組む機会がありました。特にろう者の先生や生徒と会話していく中で、手話で多くの人と会話したいと考えました。実際にスマイルクラブのデフバレーボールの大会にスタッフとして参加させていただいたとき、短いながら手話で通じた際はとてもうれしかったです。自分がボランティアとして活動していなければ手話を学ぼうとは思っていませんでした。

これらの経験から、取得した簿記などの資格を活かしながら多くの人と関わり、社会的に困っている人の役に立てる仕事に就きたいと考えるようになりました。そこで金融業界の中から中小企業支援が出来る企業に入りたいと思って就職活動をした結果、政府系金融機関から内定をいただくことができました。ボランティアを始めるまでの自分は交友関係が広いとは言えなかったため、動機の一つにボランティアでの経験がありました。スマイルクラブで学んだことがどれほど活かされるかはわかりませんが、自分を大きく成長させてくれた場だと感じています。4月から就職するにあたり、いつまでボランティアを続けられるかはわかりませんが、可能な限り皆様のお役に立ちたいと考えております。これまでありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願い致します。

## ボランティアの感想

野村 遥（のむら はるか）

私は、以前スマイルクラブに務めていた高校の先生の紹介でスマイルクラブを知り、ボランティアとして来るようになりました。小さい子と関わることは好きでしたが、機会が無く、また、障がいを持った子と関わるのは初めてのことだったので、初めは、どうやって接したり声を掛けたりしていいかわからず、ただただ緊張していました。しかし、子どもたちはそんな私を余所に、私に対して明るく「先生！」と呼んでくれて、私の不安も徐々に薄れていきました。そして、私がボランティアを初めてもうすぐ約2年が経ちます。私はスマイルクラブのボランティアで沢山のことを学ばせていただきました。その中で私が特に大切だと感じたのは、工夫した声掛けと話し方です。ただ話すだけ、説明するだけでは理解が難しいことがあるため、子どもの年齢や能力に応じて、話し方を工夫する必要があることがわかりました。気分が乗らず行動が止まっている子に対しては、声掛けだけでは進まない場合もあります。その時には一緒になって活動したり、手を貸したりという工夫が必要になってきます。また、1回きりの声掛けだけではなく、その都度指導していくことで、子どもがやり方を少しずつ理解していけることがわかりました。そして指導を続け、子どもが課題をクリアできたときに見られる笑顔に、私も嬉しくなるのと同時に、成長を感じられ、指導者としてのやりがいを知れた経験にもなりました。ボランティアをしていく中で、自分の力不足な部分にも多く気付かされてきました。例えば、教室が終わったあとのミーティングで、子どもの気になった点をあげていく中で、私が気付けなかったことがいくつかありました。その日の子どもの様子は今後の指導につながるもので、子どもの様子を基に指導者が次はこうしようと考え、指導することで子どものステップアップになると思います。活動中の様子をしっかりと把握しておくことは指導者にとって重要なことだということが学べました。このことから、もっと視野を広げ、子どもの様子に意識を向けようという気持ちが持てるようになりました。私は今、スマイルクラブのボランティア以外にも、学童でのアルバイトや小学校でのインターンシップを通して子どもたちと関わる機会が多くなりました。そして、それらの小学校にも障がいをもった子どもたちが在籍していました。私は、迷うことなく積極的にコミュニケーションを取ることができました。これはスマイルクラブのボランティアでの経験があったからだと思います。同じ障がいでもひとりひとり個性があるため、対応の仕方の正解がわかったわけではありませんが、障がいがある子もない子と一緒に楽しく活動しようという気持ちを大切にしたいと強く思います。私はこれからも子どもの笑顔を大切にしながら、成長の過程をサポートできるように頑張っていきたいです。

---

# 本事業の評価と課題

---

## 【評価】

今回は助成事業5年目の最後の年との位置付けで評価します。

5年前はボランティア募集を、どこに配布したらよいのか。など試行錯誤の連続でした。

徐々に体育系の大学、福祉系の大学、専門学校などとの連携もできつつあり、インターンシップでの参加者も多くなってきています。

また、スマイルクラブのスポーツ教室会員によるボランティアも定着してきて、イベントの際に以前なら大学などに案内を持って行っていたが、クラブの教室へ声をかけるだけで、かなりのメンバーが揃うようになってきました。

2020年のオリパラも決まったことで、障がい者スポーツへの注目も以前より大きくなっています。障がい者スポーツ指導員資格（日本体育協会）を取得している人への受け皿としての役目も、これからは大事になってきそうなので、ますますボランティア獲得への追い風になりそうです。

5年という期間の助成を頂いたおかげで、目標は達成できたと思います。

## 【事業実施によって得られた成果】

継続参加のボランティアの獲得や技能講習会を通じてスキルアップを達成し、ボランティアの資質向上がはかれました。

特に、体験発表会での各ボランティアの発表に共通してみられるように、一人ひとりが違うということを十分理解した上で、発達障がい児の運動指導に臨んでくれるようになったことは大きな成果であり、将来子ども達が社会に出た時の支援の充実に繋がると考えます。

## 【課題】

ボランティアというと、通常は無償と考えます。イベントのような一過性の場合にはそれでも構わないのですが、定期的に来てもらいたいボランティアにはせめて交通費位の支給はしたいと思います。しかし、その時には、いつも支給できる財源があるかという課題があります。

# (付表) ボランティア募集チラシ一覧

主催 NPO法人スマイルクラブ  
夏のプールボランティアと安全研修案内！！

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION

《 ボランティアに参加してみませんか? 》

① プールボランティア 障がい(自閉症などの発達障がい)のある子どもも参加できる水泳教室のサポートボランティアです。子どもたち(小学生が中心)と一緒にプールに入り、コーチの指示にあわせて動けるようにサポートをしてもらいます。

◆日時 平成30年 8月1日(水) 2日(木) 3日(金)

◆場所 柏市立柏高等学校のプール

◆条件 子どもの好きな人・25mlは泳げる人  
(できれば3日間参加できる人)

《 安全研修に参加してみませんか? 》

② 流通経済大学の荒井宏和教授(ライフガード専門)より救急救命の知識を教わり、心肺蘇生法とAEDの使い方をダミー(人形)を使って実践します。

◆日時 平成30年 7月18日(水) 13時~15時

◆場所 柏市立柏高等学校内 教室(未定)

◆条件 救急救命に興味のある人

どちらもボランティア参加証を差し上げます

さあ！  
申し込もう！  
①か②どちらかでも大丈夫です！  
(必切 7月15日)

➔

市立柏高校 水泳部顧問  
矢野先生まで  
お問い合わせ！

※ この事業は、2001年より市立柏高校のご協力のもとに行われ、誌先新聞に掲載され紹介していただいています。今年も多くの皆さんのご協力よろしくお願いいたします！！

◆お問い合わせ先◆  
NPO法人スマイルクラブ  
e-mail smile-c@jcom.home.ne.jp  
TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303  
住所 〒277-0858 千葉県柏市豊上町23-29



Supported by  THE NIPPON FOUNDATION

NPO法人スマイルクラブ  
ボランティア活動報告会

NPO法人スマイルクラブは、スポーツを通じて地域に貢献することを目的としており、発達障がいのある子どもも参加できる「運動が苦手な子の教室」を開催しています。今年度は、日本財団様の助成を受けて「発達障がい児が運動するための環境づくり及びスポーツボランティアの養成」事業としても活動してきました。そのおかげで、この一年間たくさんの方にご参加いただき、とても感謝しています。ありがとうございました！！事業のまことに、実際に子どもたちと関わってみたいの感想やボランティアの楽しさや楽しかったことなどの思いを故人の方に発表していただき想いを共有する場として、下記のとおりボランティア活動報告会を行います！どなたでも参加可能なので、是非いらしてください！

【日 時】2019年2月2日(土)19:30~21:30  
※軽食を用意しております

【会 場】まねきねこ柏駅前店(千葉県柏市柏1-2-8)  
※常磐線柏駅南口徒歩2分システムランドビル(丸亀製麺のビル)5F

【募集人数】20名(定員になり次第締め切り)

【参加費】無料  
☆参加ご希望の方は1月27日(日)までにHPからお申込みいただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆お申込み・お問い合わせ先◆  
NPO法人スマイルクラブ  
e-mail smile-c@jcom.home.ne.jp  
TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303  
住所 〒277-0858 千葉県柏市豊上町23-29  
HP <http://smile-club-npo.jp/>


# (付表) 参加者募集チラシ一覧

**NPO法人スマイルクラブ**

**ボウリングイベント**

**参加者募集!!**

発達障がいや視覚障がい、身体障がいがある方、スポーツが苦手だと思っている方、スポーツを通じて障がいのあるなしに関わらずみんなで一緒にボウリングを楽しみましょう!!  
(親子・家族での参加もOKです!)

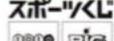


**【日時】** 2018年**10月8日(祝月)** 13:30~16:30  
 13:30~ 受付  
 14:00~ 開会式  
 14:15~ ゲーム開始(2ゲーム)  
 16:20~ 表彰式・閉会式・記念撮影

**【会場】** マルハン柏内ボウリング場(柏市十倉二249-5)  
**【参加費】** 無料  
**【対象】** 幼児(4歳)~一般  
**【持ち物】** 靴下、飲み物、タオル等  
**【お申込み】** 下記HPアドレスにアクセスし、応募ページからお申込みください。  
**【定員】** 80名※定員になり次第締め切ります。

◆お申込み・お問い合わせ先◆  
**NPO法人スマイルクラブ**  
 e-mail smile-c@jcom.home.ne.jp  
 TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303  
 住所 〒277-0858 千葉県柏市豊上町23-29  
 HP <http://smile-club-npo.jp/>

Supported by  **日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION**

**スポーツナビ**  
  
 【スポーツナビ】Cマーク事業

**NPO法人スマイルクラブ**

**プール教室**

**参加者募集**

今年もプール教室を開催致します!!  
暑い夏にみんなでプールを楽しみましょう!!



**日時:** 2018年8月1日(水)~3日(金)  
 10:00~12:00(10:00現地集合 12:15現地解散)

**場所:** 柏市立柏高等学校屋外プール  
 (千葉県柏市船戸山高野325-1)

**対象:** スマイルクラブ会員(元会員含む)

※今回はボランティアの関係により**先着20名**とさせていただきます。以降はキャンセル待ちとなりますご了承ください。

**参加費:** 4,500円/人(税、保険料込み)  
**協力:** 柏市立柏高等学校

**応募方法:** **HPからお申込みください(7/1募集開始)**  
 ※少々の雨は決行致します。ただし雷を伴う天候は中止とする場合もありますが、返金はできかねますのでご了承ください。  
 ※キャンセルは一週間前(7/25)までは全額お返し致します。それ以降前日までは半額とさせていただきます。

この事業は日本財団の助成事業です。

◆お申込み・お問い合わせ先◆  
**NPO法人スマイルクラブ**  
<http://smile-club-npo.jp/>  
 e-mail smile-c@jcom.home.ne.jp  
 TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303

Supported by  **日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION**

【参考】

ボランティアの継続希望者向け 通年の教室紹介

地域	内容	会場	曜日	時間
千葉県柏市	苦手な子	富勢西小学校	毎週木曜日	18:00～19:00
	チャレンジスポーツ	富勢西小学校	毎週木曜日	19:00～20:30
	苦手な子	富勢東小学校	毎週土曜日	9:30～10:30
	苦手な子	酒井根小学校	毎週土曜日	13:00～14:00
	苦手な子	旭小学校	毎週土曜日	15:00～17:00
	苦手な子	大津ヶ丘小学校	毎週土曜日	16:15～17:15
松戸市	苦手な子	常盤平体育館	毎週水曜日	17:00～19:00
			毎週木曜日	17:00～19:00
	チャレンジスポーツ	小金南中学校	毎週水曜日	19:15～20:45
	チャレンジスポーツ	常盤平第二小学校	毎週火曜日	19:00～20:30
印西市	苦手な子	木刈小学校	毎週土曜日	10:00～11:00
船橋市	苦手な子	大穴小学校	毎週土曜日	13:00～15:00
茨城県水戸市	苦手な子	ウ・ア`リィズ`	毎週土曜日	9:30～11:30
	苦手な子	常磐小学校	毎週土曜日	13:30～14:30
	チャレンジスポーツ	ウ・ア`リィズ`	毎週金曜日	19:00～20:30
熊本県熊本市	苦手な子	龍田地域コミュニティセンター	毎週土曜日	14:00～15:00

- ・内容：小学生中心の「運動が苦手な子の教室」・高校生以上の「チャレンジスポーツ教室」での運動指導  
 コーチの指示に合わせて運動できるように、声をかけたり手を引いてもらうなどのサポートをさせていただきます。



# 「スポーツを通じて障がい児の自立を 支援するボランティアの養成」事業

---

2019年3月発行  
編集・発行 NPO法人スマイルクラブ

## NPO法人スマイルクラブ

TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303

**Homepage**

<http://smile-club-npo.jp/>

**E-mail**

[smile-c@jcom.home.ne.jp](mailto:smile-c@jcom.home.ne.jp)



〒277-0858 千葉県柏市豊上町23-29



**smile club**  
surroundings where everyone can easily enjoy sports  
SINCE 2000